

海洋教育研修会要項

令和元年6月19日

- 1 主催 能登町教育委員会
後援 能登里海教育研究所

2 目的

能登町が推進する海洋教育について、能登町の豊かな自然を活用した体験的な学習活動をもとに、各校が取り組んでいる海洋教育を新学習指導要領の総合的な学習の時間がねらいとする「主体的・探求的な学習活動」に発展させ、児童生徒にふるさとに誇りを持たせるとともに学力の向上の基盤づくりに資する。

- ・各校区の学習資源の発掘と有効活用の手だてを探る。
- ・海洋教育に係る関連施設や研究施設、地域人材との連携、活用方法を考える。
- ・体験活動をもとにした系統的な学習単元の立案の仕方や評価の観点設定を学ぶ。
- ・学習単元のねらいに沿った体験活動のノウハウや安全確保の留意点等を学ぶ。

- 3 期日 令和元年 8月28日(水) 13:30～16:15

4 部会(各部会12～15名規模)

部会	会場(協力施設)	研修内容	視点
小学校 低学年部会	のと海洋ふれあいセンター	磯観察(海洋生物) 研究協議(研修室)	海に親しむ
小学校 中学年部会	能登少年自然の家	海洋ゴミについて(講義) 研究協議(研修室)	海を知る 海を守る
小学校 高学年部会	金沢大学臨海実験所(小木) ※ 9:15～12:00	プランクトン採集・観察 研究協議(研修室)	海を守る 海を利用する
中学校部会	松波中学校	事例紹介(松波中学校の取組) 研究協議(多目的室)	他教科と関連させた 深い学びに向けて

5 部会別研究協議日程及び概要

- ① 13:30～14:15 フィールドワークまたは講義(現地集合)
- ② 14:30～15:00 事例紹介、情報交換、質疑
- ③ 15:10～16:00 ワークショップ(単元計画立案)
5時間の単元計画
・導入、事前指導
・体験活動
・学習のまとめ
・成果の発表、振り返り
- ④ 16:00～16:15 研修のまとめ

- 6 参加者 小学校教職員：それぞれの部会に各学年の担任を中心に各校2～3名
中学校教職員：総合的な学習の時間担当者を中心に各校3～4名

各部会の研修プログラム

<小学校 低学年部会>

コーディネーター：小木小学校職員 アドバイザー：能登里海研究所専門員

① ねらい

生活科における「海に親しむ」体験をもとにした学習活動の単元構成を考える。

② 磯観察「海の動植物」

指導・助言：のと海洋ふれあいセンター専門員、能登里海研究所専門員

③ 事例紹介

小木小学校の事例紹介（各校の事例を元に情報交換）

④ ワークショップ

<小学校 中学年部会>

コーディネーター：小木小学校職員 アドバイザー：能登里海研究所専門員

① ねらい

総合的な学習の時間を中心に、視野を広げ「海を知る」「海を守る」体験をもとにした学習活動の単元構成を考える。

② 講義「海洋ゴミについて」

指導・助言：能登里海研究所専門員

③ 事例紹介

小木小学校の事例紹介（各校の事例をもとに情報交換）

④ ワークショップ

<小学校 高学年部会>

コーディネーター：小木小学校職員 アドバイザー：能登里海研究所専門員

① ねらい

総合的な学習の時間を中心に、中学年の既習内容の「海を知る」「海を守る」体験をもとに「海を利用する」学習活動の単元構成を考える。（理科や社会科など他教科との関連づけ）

② 実習「プランクトン採集・観察」

指導・助言：能登里海研究所専門員

③ 事例紹介

小木小学校の事例紹介（各校の事例をもとに情報交換）

④ ワークショップ

<中学校部会>

コーディネーター：松波中学校職員 アドバイザー：能登里海研究所専門員

① ねらい

総合的な学習の時間を中心に、小学校での既習内容・体験をもとに、より発展的で探求的な学習活動の単元構成を考える。（他教科の専門的な学習内容との関連づけ）

② 事例紹介

松波中学校の事例紹介（各校の事例をもとに情報交換）

③ ワークショップ